

平成 29 年度広島市立図書館主要事業（案）

1 広島文学資料室開室 30 周年記念事業（中央図書館）

昭和 62 年 10 月に広島にゆかりのある文学者 21 名の資料を収集・公開する広島文学資料室が開室して 30 年目を迎えることから、記念行事を行う。

企画展では、今後もっと広島文学資料室が市民に親しまれるように、現在活躍中の作家も含めて幅広く広島にゆかりのある作家の作品を取り上げ、ゆかりの作家による講演会を開催する。

- (1) 企画展「広島文学資料室開室 30 周年記念 広島ゆかりの文学」（仮）
- (2) 講演会「物語をかくということ」（仮）

2 浅野氏入城 400 年記念事業（中央図書館）

平成 31 年(2019 年)は、浅野家第 3 代長晟公が広島藩主として入城してから 400 年にあたることから、平成 29 年度、30 年度の 2 年間で、浅野家が統治した 250 年間の広島の歴史・文化などについて学ぶ講座を開催する。

- (1) 歴史講座「江戸時代の広島～浅野家と広島藩～」の開催
平成 29 年度（全 10 回）、平成 30 年度（未定）

3 企画展「掘り起こす広島の文芸Ⅲ 戦後から昭和年間の広島・ヒロシマの文芸」（中央図書館）

平成 19 年度に「掘り起こす広島の文芸Ⅰ」を、平成 23 年度に「掘り起こす広島の文芸Ⅱ」を開催したのに引き続き広島市文化協会文芸部会と共催で開催する。

[掘り起こす広島の文芸Ⅰ～大正デモクラシーから終戦まで～」平成 19 年度開催
	掘り起こす広島の文芸Ⅱ～戦後占領期の広島の文芸～」平成 23 年度開催
]	

戦後昭和年間の文芸活動を詩・短歌・俳句等の視点から紹介し、現在から将来に向けての広島の文芸を考える企画展を開催する。

- (1) 企画展「掘り起こす広島の文芸Ⅲ 戦後から昭和年間の広島・ヒロシマの文芸」

4 広島市立広島特別支援学校との連携（中央図書館）

- ・平成 24 年度、自動車図書館ともはと号による広島市立広島特別支援学校への巡回を開始し、図書の貸出・おはなし会を実施
- ・平成 28 年度、先生、生徒と図書館職員が一緒になって学校図書室の整理・改善作業を開始
- ・平成 29 年度、生徒が作成したブックカバー、しおり等の販売コーナーを図書館内に定期的に設置し、学校の取組を支援

5 まんが図書館開館 20 周年記念事業(まんが図書館)

まんが図書館は平成 9 年(1997 年)5 月に日本で唯一の漫画専門の公立図書館として開館してから 20 周年を迎えることから、記念行事を開催し、あらためて漫画文化の振興に努めてきたまんが図書館事業の周知を図る。

- (1) 記念講演会 こうの史代氏(漫画家)、吉村和真氏(京都精華大学)、久保直子氏(比治山大学)3 氏による鼎談
- (2) おもしろその年まんが大賞展 1 ～19 回の同賞の受賞作品の展示
- (3) 開館 20 周年記念の利用案内作成
- (4) PR 動画の作成

6 子どもたちへの読書支援～「広島市子どもの読書活動推進計画(第三次)」～

こども図書館

- ・学校・ボランティア等支援図書セットの貸出
- ・家庭読書アドバイザーの派遣
- ・「発達段階別図書リスト」の作成・配布
- ・ボランティア養成・支援に係る研修、交流会等の実施

中央図書館

- ・中・高校生向け通信の発行
- ・中・高校生向け「職業ハッケン!!コーナー」の充実
- ・高校生向け出前ブックトークの開催
- ・「高校生ビジネスプラン作成講座」の開催

区図書館等

- ・青少年向けオススメ図書の展示
- ・おはなし会等の実施

7 「江戸の湯来発 広域連携フォーラム」開催事業(湯来河野閲覧室)

浅野文庫所蔵『都志見往来日記・同諸勝図』(岡岷山作)に湯来地区が含まれていることから、湯来河野閲覧室では、平成 25 年(2013 年)度から「江戸の湯来」施策を展開している。今回は、『都志見往来日記・同諸勝図』の舞台となっている安芸太田町や北広島町と初めて連携し、同資料から江戸時代の広島を学ぶ機会としてフォーラムを開催する。

- (1) 「江戸の湯来発 広域連携フォーラム」開催